

関係各位

2008年7月14日

TeamOSAKA

(代表：ヴイストーン株式会社)

## TeamOSAKA に新メンバーを迎え、2008年版「VisiON Vgos」登場!!

～ クロスエフェクト社の加入で外装の軽量化・耐衝撃性向上に成功 ～

産学連携のロボット共同開発コンソーシアム「TeamOSAKA」は、今回大会より TeamOSAKA のメンバーとして株式会社クロスエフェクト（京都市伏見区、代表取締役：竹田正俊）を迎え、7月16日から中国・蘇州で開催されるロボカップ世界大会に5連覇をかけて出場する VisiON（ヴィジョン）シリーズの最新作「VisiON Vgos（ヴィジョン ヴィーゴス）」を開発しました。

### ○「VisiON Vgos」について

今回ロボカップ世界大会5連覇に挑む「VisiON Vgos」は、昨年ロボカップ世界大会を制した「VisiON4G」から下記の点がパワーアップしての登場となります。

①ハイパワー化に成功した新型サーボモータを投入

②新開発の歩行アルゴリズムを搭載、運動性能が向上

また、今回からレギュレーションの変更に伴いカメラは前方カメラ×1のみの搭載になります。頭部の新たなデザインはロボ・ガレージ高橋智隆が担当しました。

### ○株式会社クロスエフェクトの TeamOSAKA 加入について

株式会社クロスエフェクトは、光造形や真空注型を駆使した開発試作モデル・小ロット生産などの高速プロトタイプ製作技術で高い評価を得ているメーカーです。

この度クロスエフェクト社を TeamOSAKA のメンバーに迎えることで、VisiON Vgos は外観デザインを保ちながらの軽量化と耐衝撃性の向上を実現することができました。

ロボットの活躍の場が増えるにつれて、ロボットの外装は機能とデザインの両立がより高いレベルで求められることとなります。高い技術と実績を持つクロスエフェクト社の役割は、今後ますます大きくなるものと思われま



ロボカップジャパンオープン 2008 沼津にて。TeenSizeクラスの VisiON4G と、右は TeenSize クラスに出場した大型ロボット VstoneTichno R。



○VisiON Vgos 主な仕様

自律型二足歩行ロボット「VisiON Vgos」	
全高・重量	455mm・約 3.2kg
自由度	21 自由度（足 7 自由度×2、腕 3 自由度×2、頭 1 自由度）
メイン CPU	ピノー社製 PNM-SG3 500MHz
サブ CPU	Vstone 製 VS-RC003 (ARM7 60MHz)
センサ	前方カメラ(41 万画素)×1 加速度センサ×3、ジャイロセンサ×2、角度センサ×21
電源	リチウムポリマー電池 7.2V 2,100mAh×2



VisiON Vgos (デザイン: ロボ・ガレージ高橋智隆)



○本件に関する問い合わせ先

ヴイストーン株式会社 (<http://www.vstone.co.jp/>)  
 経営企画室 松田 公彦  
 〒554-0024 大阪府大阪市此花区島屋 4-4-11  
 TEL:06-6467-6601 FAX:06-6467-6602  
 E-mail:infodesk@vstone.co.jp

■解説

○TeamOSAKA

2003 年に「RT 都市・大阪」をアピールするため企業・研究者が結成したロボットの研究開発コンソーシアム。2004 年のロボカップ世界大会（リスボン）にて TeamOSAKA が開発した自律型サッカーロボット「VisiON（ヴィジョン）」が総合優勝して以後、ロボカップ世界大会 4 連覇中。

構成メンバーはヴイストーン株式会社、株式会社システクアカザワ、京都大学ベンチャーロボガレージ、大阪大学大学院工学研究科石黒研究室、株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR)。また、オフィシャルパートナーとして日本遠隔制御株式会社も参加している。

○ロボカップ

自律移動ロボットによるサッカーを題材として、ロボット工学と人工知能の融合、発展のために世界の研究者が集うロボット競技の国際プロジェクト。「2050 年に人間のサッカー世界チャンピオンチームにヒューマノイドロボットチームが勝つ」ことを目標に、二足歩行ロボットによるヒューマノイドリーグの他四足ロボットリーグなどの競技が開催されている。

○株式会社クロスエフェクト 会社概要

- ・所在地 京都府京都市
- ・設立 2001 年 8 月 1 日
- ・業務内容 プロダクトデザイン及び樹脂筐体設計、3D スキャニング・モデリング、光造形による 3D 開発試作モデルの製作、真空注型品製作など
- ・代表者 代表取締役 竹田正俊